

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.4
212

新入社員諸君へ

イナテック入社おめでとございます。縁があつて入社されたわけです。我々先人はこの新入生を育てる義務があります。若い人を育て、次世代・将来のイナテックを担っていただき永遠に継続し社会に貢献できる公器として頑張り人生を謳歌してもらうためです。

新入社員諸君は先輩の指導を受け自分の最高・最善を一所懸命・素直に実行するので

す。
そして周りの人たちが感動する程までやることです。そうすると次のステージが必ず

やってきます。手を抜いた時は必ず結果として出てきます。とにかく一緒に頑張ろう。

東北・関東大震災

『2011年3・11』これは歴史に残る大震災になってしまいました。

当日私共はTPSの勉強でトヨタの某配送センターで勉強をさせていただいていた時でした。気持ち悪い揺れの後、テレビ中継では何がどうなっているのか、まさしく悪夢を見ているかのようでした。

被災された東北の方々には日本国民全員で援助・復興を行い、もう一度日本を再生しようではありませんか。

イナテックとしても社員の皆さんと少しでも義援金を募り貢献したいと思っておりますので皆さんの御協力をお願いいたします。

『風邪は罰金』

納得のいくいい記事を見つけました。フナイFAXの三浦康志氏の文章です。

“秋山木工には「風邪をひいたら罰金」

という項目があります。学生と社会人とは何が違うのかを教えるためにとても理に適った制度です。

学生時代は風邪をひく事は、被害的なことであつてかわいそうなことという感覚があります。

しかし、責任ある社会人はそれは捉えられません。風邪をひく事は自らの心と体の管理ができていない結果起こることであると捉えます。自らが招いた恥ずかしいことです。風邪は予防できるものです。

歌手が風邪をひいて声が出なかつたら、視聴者・発注者はどのように捉えるでしょうか。かわいそうでしょうかがたいとは思わないはずです。プロ失格と判断します。

風邪はひきたい時にひきたい人がひくもので、ひきたくない人はひかないというのが真実です。

それを教えることが風邪罰金制度の効用です。”

新入社員・現役社員も含め、『風邪』に対

する考え方を換えようではありませんか。気が抜けたとき、気持ちに油断があったとき、襲ってくるものです。我々はプロフェッショナルなんです。「風邪をひいたら恥ずかしい」という社風にしていこう！

“企業”ありがとう

介シイ&スマイル活動は少しでも運動して生活習慣病の予防改善をしようという企画です。昨年の達成率は数%にすぎませんでしたが、今年度は56%まで向上させる事ができました。

これも“達成率向上”が目的ではなく、皆さんが健康で長生きし、いい仕事のできる身体であり、幸せになっていただくのが狙いです。

若くして糖尿病になって失明、足の切断、脳卒中、心筋梗塞等で残された人生を他人様に介護されて過ごす。そんな社員になって欲しくないわけです。

人のためではありません。自分の健康は自分で責任を持つ事が基本です。結果的に世間に身内に他人様に迷惑を最小限にする人生を送りましょう。